



先輩職員から
のメッセージ

東京国税局 調査第一部
外国法人調査第3部門
(平成28年度入局)

仕事も子育ても 積極的に学ぶ

▷ 現在の業務内容

大規模な**外国法人の調査**を担当しています。外国法人は、内国法人とは違い、提出される書類は英語が多く、特有の税務知識が必要です。大学受験以降、長らく英語の学習から離れていたことを今になって後悔しているところです。また、法人も大規模なので、会社の様々な方に話を伺い、その中で問題点が無いかを短い時間の中でピックアップすることは大変ですが、熟練の上司たちにアドバイスをもらいながら仕事を進めることができるので、日々成長を実感できる職場、仕事内容だと思います。

▷ 志望動機

大学生の時に税法に関するゼミに所属していたので、そこで税法に興味を持ったのが、この職場を目指そうと思ったきっかけです。また、**専門職という仕事に憧れ**を抱いていたので、職務を通じて奥深い税法について検討できる、また身に付けられる場であるこの職業は理想的だと思います。



◆ 先輩の1日

- 7:40 子の保育園送迎
- 9:00 出勤・メールチェック
- 9:15 局を出発
- 10:00 調査開始
～事業部にヒアリング
- 12:15 昼食
- 13:00 取引の検討
次のヒアリングの準備
- 16:30 帰局
～翌日の調査準備
- 17:30 退庁
- 18:30 ～書類作成等で
残業すること

▷ やりがい、魅力



我々は税務の専門職ですが、当然相手もその道のプロフェッショナルなので、双方の意見が食い違うことも多く、こちらの主張を通すのは、中々骨の折れる作業ですが、こちらが会社について**調べた事実関係や、身に付けた知識を武器に説得して、相手が納得してくれたときは、他では味わえないような達成感**があります。この土台となる知識については、各種充実した研修のほか、先輩たちのOJTから培っています。受け身の状態だと身に付く知識も中々身に付かなくなってしまうので、積極的に学ぶ姿勢を心掛けています。

▷ 子育てとの両立

子供が生まれた際に、特別休暇と併せて育児休業を1か月半取得し、妻が里帰り出産から東京に戻ってきた際に、2回目の育児休業を1か月半取得し、合計3か月ほど育児休業を取得しました。子供を保育園に預け始めてからは、勤務時間を少し遅めに設定して、子供を保育園に送ってから出勤しています。育児をしながらの仕事は大変ですが、妻と協力しつつ、また職場の周りの方々に支えてもらいながら、日々奮闘しています。



人生一度きりしか無いので、仕事を選ぶ上で悩むとは思いますが、選択した道を自身で正解にするのもまた人生です。あまり悩みすぎず、自身の直感に従ってみるのもいいかもしれません。この職場で働きたい、また働きたいと思う仲間が一人でも多くなるよう、自分も頑張ります。